



レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
 ☎ 019-651-1000
 盛岡市かわいキャンプ
 ☎ 0193-76-2005
 kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (3月23日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 7,084 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 3. 22 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 8,184 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 3. 22 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	3/23	24	25	26	27	28	29	
曜日	金	土	日	月	火	水	木	
宿泊者	44	40	34	37	28	35	52	
活動者	32	46	39	36	30	31	39	
内 訳	個人	32	34	31	25	27	28	36
	団体	0	12	8	11	3	3	3



息の長い支援を かわいキャンプに

- ◆ かわいキャンプは、昨年7月東日本大震災による被災地のボランティア活動拠点施設として盛岡市社会福祉協議会が盛岡市から委託を受けて運営しています。被災地に近い場所で後方支援基地としての役割を果たそうというものです。施設は、旧岩手県立宮古高等学校川井校（平成22年3月閉校）の校舎を岩手県教育委員会からお借りしているものです。
- ◆ キャンプは、総勢10名~12名のスタッフで24時間常駐体制で臨んでいます。スタッフの中には、沿岸被災地や地元川井地区に住む者もおります。ボランティアさんの受入れ、被災地の復興支援センターとのボランティアニーズの調整、ボランティアさんの送迎運転のほかに、活動者全員を集めて行う毎朝のオリエンテーション、被災地の復興支援センターからの活動情報の収集、支援活動の企画提案、問い合わせメールへの回答、体調が優れない方やけがされた方の診療所の搬送受診、ボランティアさん間の意見調整、支援物資の管理、施設修繕など建物の管理、活動記録の取りまとめ・報告など、様々な仕事に従事しております。
- ◆ キャンプの利用者さんは、個人で参加される方が圧倒的に多い状況です。その中で、長期的にキャンプを利用しているボランティアさんやリピーターさんの力は大きく、キャンプ運営の頼もしい存在です。毎日駆け付けるボランティアさんのリーダーとなり、丁寧な作業の指導をはじめ作業中の健康管理や緊急時の対応にまで目配り、気配りをさせていただいております。また、難しい作業も引き受けていただくなど、被災地の復興支援センターからは大きな信頼をいただき、キャンプの存在意義を高めることにつながっております。
- ◆ 4月以降もかわいキャンプは、全国のボランティアさんの力をいただいて支援活動を継続します。暮らしの復興、古里の復興は、息の長い継続した支援活動から生まれます。ボランティア活動がその課題の全てを解決するには至りません。「ボランティアをさせていただいている」という、ほんの少しの喜びを心に仕舞いながら活動に向かうことが、ボランティアが被災された方々の心に寄り添うことであると思っています。